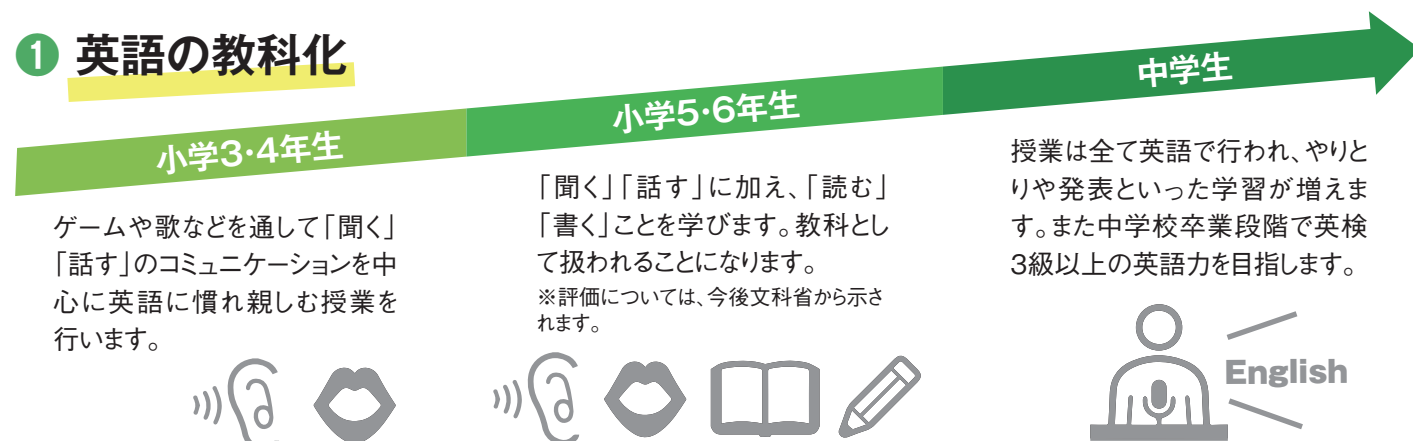


Q 授業など具体的に何が変わるの? → A 大きく変更される点は、以下3点。

1 英語の教科化



2 道徳の教科化

今までの「道徳」が、新しく「特別の教科道徳」となり、初めて道徳の教科書も作られます。
これまでの道徳は「自分だったらどうするか」を考え深める授業が少なく、地域によって取り組みにばらつきがありました。これからは、特定の考え方を押し付けるのではなく、考えて議論することを大切にします。
※評価はしますが、数値で評価することはありません。



3 プログラミング教育の導入

AI(人口知能)や情報化の急速な進化に対応できるように、小学校から情報やコンピュータを学習します。新しい教科ができるわけではなく、すでにある各教科のなかに組み込まれていきます。

※プログラミングとは…人間の意図した処理を行うようにコンピュータに指示を与える行為。



音楽の時間に作曲したり、図工の時間に描いた絵を動かすなど

石川 博久
学校教育課 指導監

interview

大事なものは頑張っている姿
プロセスで認めること

本市では、教師が意図的に子どもたちを認めることで自己有用感を育んでいます。つまり活動を通して「自分自身の持ち味やよさ」や「仲間から必要とされている」ということを実感する取り組みに力を入れているのです。

子どもが何かをやり遂げた時に、結果だけでなく頑張ったことを認め褒めていくことで、たとえうまくいかなかった場合でも「自分にもできるかも!」と思うことができるからです。それが学びに向かう力や人間性を育むことにつながると考えます。ぜひ、ご家庭におかれましても親子での活動や対話の場面を意図的に作り、子ども達の取り組み過程を大切に「どうしてそうしたの?」「なぜそう考えるの?」などと問い返しなが認め褒めて頂けたらと思います。

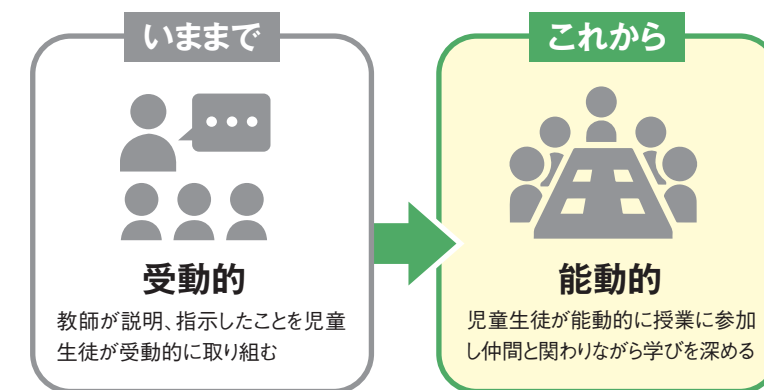


学校教育が変わるって知っていましたか?

年号が変わり、東京オリンピックや浦添市市制施行50周年など様々なイベントが開催される2020年、10年ぶりに『学習指導要領』が改訂され、学習内容や授業づくり、評価のあり方などが大きく変わります。
お子さんを持つ親としては、教育がどう変わるのか、どんな準備が必要なのかが気になる所。
今回は、教育改革後の学校に入学・進学するにあたって、どんなことに気をつければいいか確認しましょう。

Q 教育はどう変わっていくの? → A 知識を『覚える』教育からどう使うか『学び取る』教育へ

これまでの学力は「詰めこみ教育」や「ゆとり教育」など、おもに知識量の増減が焦点になっていました。
新しい学習指導要領では知識、技能に加え思考力、判断力、表現力、学びに向かう力や人間性などをバランスよく育て、社会に出てからも学んだことを活かせる学校教育を目指します。
今までの授業は教師が説明、指示したことを児童生徒が学ぶという一方スタイルが主流でしたが、これからは、児童生徒同士が学び合うスタイルが増えていきます。



「学習指導要領」とは? 全国どの学校でも一定の教育水準が保てるよう、文部科学省が定めている教育課程(カリキュラム)の基準です。およそ10年に一度改定され、これを基に子ども達の教科書や授業が作られます。